Oracle
Customer
Snapshot

アンリツネットワークス株式会社

アンリツネットワークス、最大255台のPureFlowの統計情報をモニタリングマネージャ２で一元管理してネットワーク可視化を実現

「モニタリングマネージャ２にMySQLを組み込むことで、最大255台のPureFlowシリーズを1台の管理サーバーで統合管理し、統計レポートを作成できるようになりました。MySQLは信頼性が高く、金融機関などのミッションクリティカルな環境においても、これまでにMySQLが原因となるトラブルは発生していません」―アンリツネットワークス株式会社 執行役員 開発部長　東山満氏

アンリツ株式会社の情報通信事業とアンリツテクニクス株式会社の通信インテグレーション・保守事業を統合・継承することで、2006年に設立されたアンリツネットワークス株式会社。有線・無線通信の黎明期からその発展を支えてきたアンリツグループの1社として、高度なIPネットワーク技術はもちろん、レガシーネットワークとの橋渡しを実現するIP変換技術と、公共システム構築で培ったインテグレーション力により、「人と人とのネットワーク」を大切にし、「いつでも、どこでも、誰とでも」つながることができる、安全・安心な社会を支える社会インフラおよび通信インフラの構築に貢献することを目指している。

課題

- WAN高速化や帯域制御など、さまざまな機能を包含したユニファイドネットワークコントローラ(UNC)製品群である「PureFlowシリーズ」の統計情報を蓄積し、容易に統計レポートをできるネットワーク可視化ソリューションを独自に開発する
- 1台の管理サーバーで、最大255台のPureFlowシリーズを統合管理し、4万種類のシナリオの管理ができるほか、データ容量に関わらず、常に高速にデータを格納・抽出してレポートを作成できる仕組みを構築する
- ネットワーク可視化ソリューションには、統計情報を蓄積・抽出するためのデータベースを組み込むことが必要だが、スピーディーな導入かつ導入コストを低減するために、コスト対効果が高く高性能なデータベースを採用する

導入効果

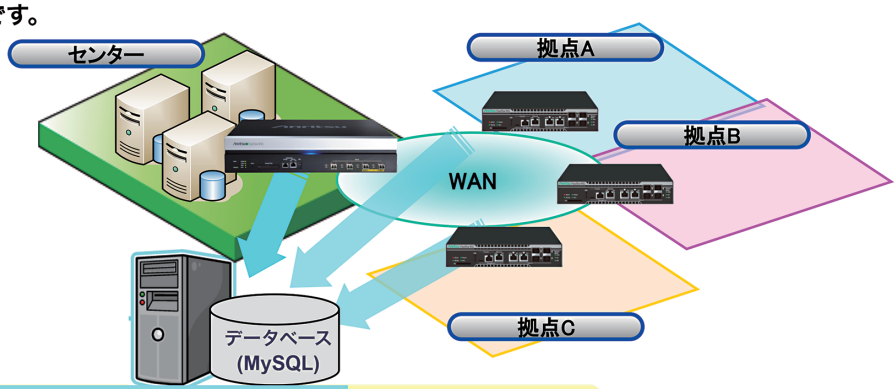
- PureFlowシリーズでは、4万種類のシナリオに関するトラフィックの統計情報を、毎秒2万レコードをデータベースに格納することが必要であり、かつレポートを作成するために、毎秒6万レコードを抽出できる高速性が必要になるが、MySQLの採用によりこの課題を解消した
- 金融機関や製造業などの止めることができないネットワーク環境に対応できる信頼性を確保できた
- MySQLは、フットプリントの小さいデータベースであることから、高性能サーバーからPCサーバーまで、さまざまなITインフラ環境でモニタリングマネージャ２を稼働させることが可能になった
- PureFlowシリーズは、さまざまな規模のネットワーク環境に導入されることから、MySQLの高い価格性能比により、最適な導入コストを可能にした
- 世界各国の拠点にPureFlowを導入した場合でも、すべてのPureFlowを日本から一元管理することができるので、導入企業が安心してグローバル展開できる環境を実現した

オラクル選定理由

「大量の統計情報を読み書きできる高い性能や、金融機関のネットワークもサポートできる信頼性、気軽に組み込みができる価格や小さいフットプリントはもちろん、日本オラクルがデータベース構築で培った経験やノウハウを生かしたサポートを提供してくれること

■ 統合管理ソフトウェア PureFlow® Monitoring Manager 2

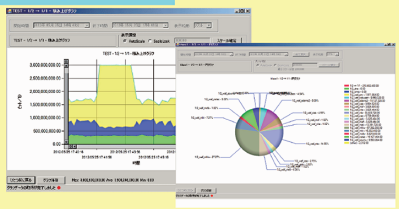
Monitoring Manager 2 は、PureFlowシリーズのトラフィック統計データを一括管理する統合管理ソフトウェアです。ソフトウェア製品のため、サーバのディスク容量に応じて、データを長期間保持することが可能です。



PureFlow® Monitoring Manager 2

- トラフィック監視
  ー拠点別、アプリ別
- 閾値超えアラート
- 統計期間レポート
- トップカウンタ表示

etc



Monitoring Manager 2 は最大 255 台の PureFlow のトラフィック統計データをリアルタイムで収集、DB (MySQL) に蓄積しながらレポート作成を行います。



アンリツネットワークス株式会社
執行役員
開発部長
東山 満氏



アンリツネットワークス株式会社
アプライアンスビジネスユニット
マーケティングチーム
部長
笹井 猛氏

を高く評価してMySQLの採用を決定しました。別のオープンソースソフトウェア（OSS）をベースとしたデータベースとも比較しましたが、OSSデータベースはサポートをコミュニティに頼るしかありません。MySQLはOSSベースでありながら、コミュニティではなく日本オラクルがサポートしてくれるのが魅力でした。また、ソースコードが公開されているので、もしものときには自分たちでソースコードを解析して問題を解決できるのも安心でした」
–アンリツネットワークス株式会社 アプライアンスビジネスユニット マーケティングチーム 部長　笹井猛氏

導入プロセス

2005年に「モニタリングマネージャ１」を開発したときには、たとえば10年分のデータに対し、期間を指定してデータを抽出する場合、複数のテーブルを「JOIN」で結合することで高い性能を実現した。なお、モニタリングマネージャ２では、パーティショニングにより必要な性能を実現するなど、常に顧客の要望に応える機能拡張、機能強化を継続している。

「今後は、Oracle MySQL Cloud Serviceの活用についても検討していきたいと思っています。また、PureFlowシリーズやモニタリングマネージャ２への顧客の要望が増えていることから、Oracle Cloud、ビッグデータやIoT、人工知能（AI）、機械学習などの最新技術に対する提案やサポートを、今後も日本オラクルには期待しています」
アンリツネットワークス株式会社 執行役員 開発部長　東山満氏

オラクル製品とサービス

•MySQL Enterprise Edition

（本事例は2017年3月のものです。）

Oracle Customer

Anritsu
envision : ensure

ORACLE Gold Partner

アンリツネットワークス株式会社

・URL：www.anritsu-networks.com
・業種：High Technology
・年間売上：95,532百万円
（平成27年度：連結）
・従業員数：159名

ORACLE

Copyright © 2017, Oracle. All rights reserved. *Oracle と Java は、Oracle Corporation およびその子会社、関連会社の米国およびその他の国における登録商標です。
文中の社名、商品名等は各社の商標または登録商標である場合があります。

Published March 2017